

# 市民センターに配置された 保健師による地域診断に基づくPDCA サイクル実践モデル —第1報—

斎藤美矢子 佐々木里佳 加生明美  
竹谷紗織 竹森 彩 小樋倫子 守田孝恵

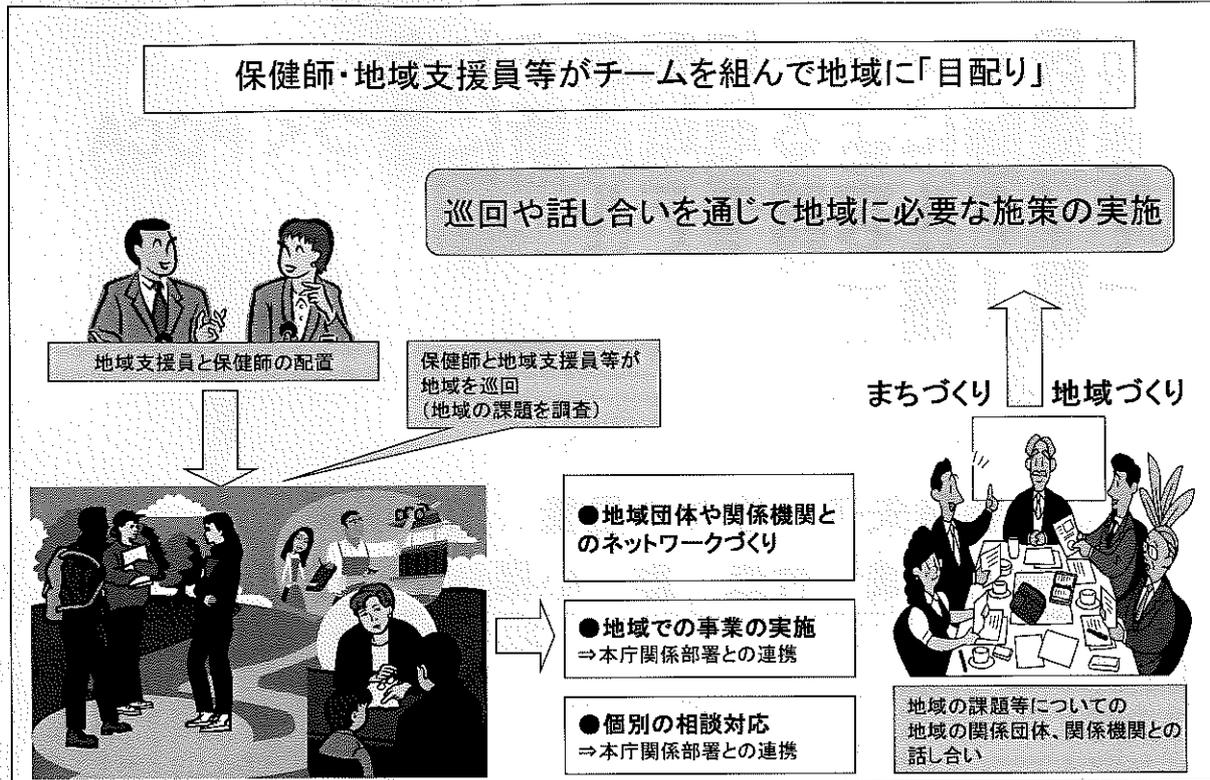
---

## 目的

---

- × H26年4月から、保健センターに配置されていた保健師のうち、5名が地域・保健福祉支援チームとして市民センターに配置された。
- × 保健師が問題意識を持って住民ニーズを把握し、地域診断に基づく効果的な保健師活動を行う上で、保健師活動の展開図活用シートにおける「問題発見」の段階で、実践活動上の困難な課題を明らかにする。

# 元気・安心・地域づくり事業



## 地域・保健福祉支援チーム （中山間地域・保健福祉支援チーム）

### ◆ チームリーダーの業務内容

- 1 地域・保健福祉支援チーム（中山間地域・保健福祉支援チーム）の統括に係る業務

### ◆ 地域支援員（中山間地域支援員）の業務内容

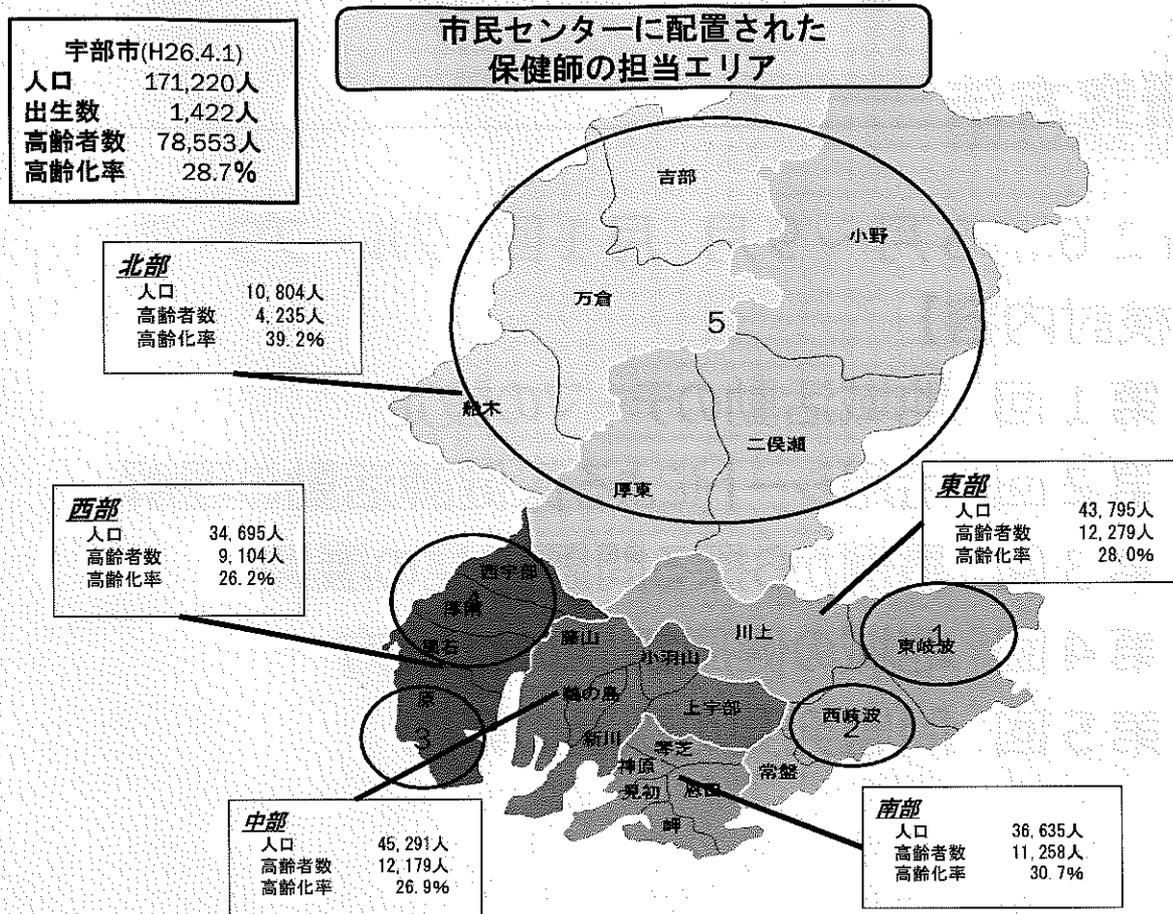
- 1 相談・訪問等による地域支援に係る業務
- 2 市の施策情報の周知等広報に係る業務
- 3 地域の関係機関との連絡調整に係る業務
- 4 自治会・コミュニティ団体の活動支援に係る業務
- 5 庁内担当課との調整等に係る業務

### ◆ 保健師の業務内容

- 1 相談・訪問等による保健福祉に係る業務
- 2 地域保健福祉の推進に係る業務
- 3 地域の関係機関との連絡調整に係る業務
- 4 地域市民団体の地域福祉活動の支援に係る業務
- 5 庁内担当課との調整等に係る業務



保健師 地域支援員 チームリーダー  
（中山間地域支援員）



## 保健師の具体的な巡回先

- × 26年4月段階の個別の訪問先
  - ・ 妊婦や赤ちゃんで見守り等が必要な家庭
  - ・ 子どもの健診結果から見守り等が必要な家庭
  - ・ 特定健診やがん検診の結果から保健指導が必要な家庭
  - ・ 高齢者等で支援を必要な家庭を中心として、随時、相談のあった家庭
- × 地域関係団体
  - ・ 校区コミュニティ、校区社会福祉協議会、高齢者総合相談センター、介護・医療機関、自主防災会、民生児童委員、福祉委員等

## 研究方法

---

H26. 5月～9月 月1回 グループワーク

### 【検討内容】

- 第1回 地域活動のテーマの設定
- 第2回 活用シートによる保健師活動の理解
- 第3回 事例から探る問題発見の展開
- 第4回 地域の健康課題のとらえ方
- 第5回 問題発見の課題の集約

---

## 分析方法

---

- グループワークメンバー  
市民センターに配置された保健師5名、  
本庁保健師1名、大学教授1名
- 活用シートによる保健師活動の記録とグループ  
ワークから、「問題発見」段階で実践上困難な点を  
抽出し、分析した

所属 氏名

テーマ (事業)				
問題発見 事業を実施していて感じている課題				
実態把握 ①事業の参加者または対象者3事例の状況をまとめる。 ②情報発見に際した「経緯」に関連すると思われる「項目」を特定し、線を引き表を作成する。 ③3つの事例から見えた地域の課題を記述する。	項目	事例A	事例B	事例C
	事例から見えた地域の課題			
地域診断	保健師が見えた地域の実態			
	事業実績			
	保健統計			
地域の健康課題				

活動計画	地域のあるべき姿  事業目的  事業目標 ①対象者の目標  ②地域の目標
実践	事業内容(実施内容)
評価計画	①対象者の目標について
	②地域の目標について
評価結果 および 今後の課題	①対象者の目標について
	②地域の目標について

## 5人の保健師の背景

市民センター 配置保健師	保健師経験年数 (H26.4.1現在)	受け持ち 校区数	地域支援チーム体制
保健師 1	7年	1校区	チームリーダー(市民センター長) 地域支援員 2名
保健師 2	12年	1校区	チームリーダー(市民センター長) 地域支援員 1名
保健師 3	6年	1校区	チームリーダー(市民センター長) 地域支援員 1名
保健師 4	27年	3校区	チームリーダー(市民センター長) 地域支援員 2名
保健師 5	27年	6校区	チームリーダー(北部総合支所次長) 地域支援員 6名

## 倫理的配慮

---

- × 保健師に対し、研究の目的と協力の任意性、匿名性の保持について説明し、研究として取り組み公表することの同意を得た
- × また、研究実施にあたり、庁内の決裁を得た

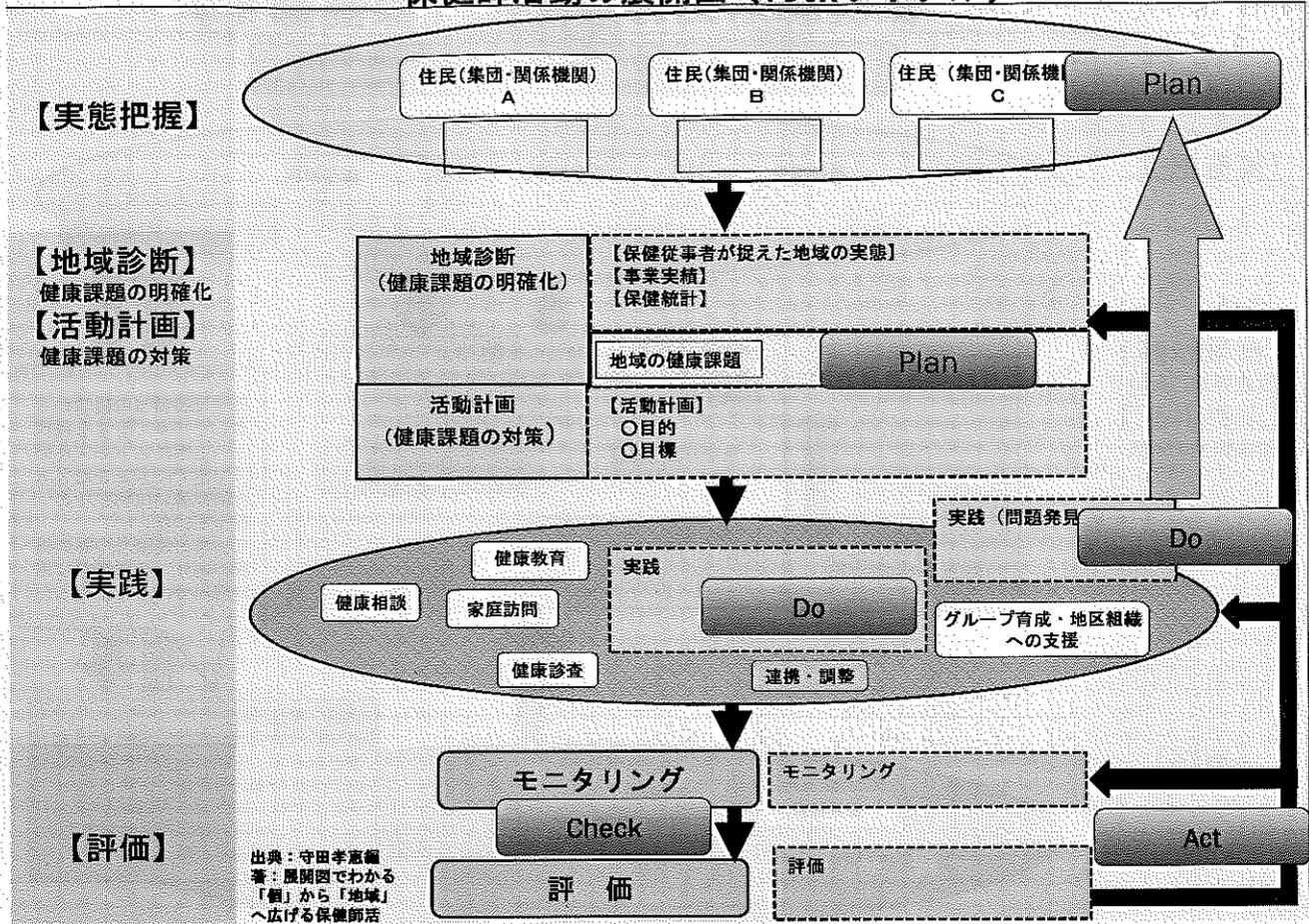
## 結果

---

保健師の実践活動を、6つの流れに沿って、活用シートで整理した

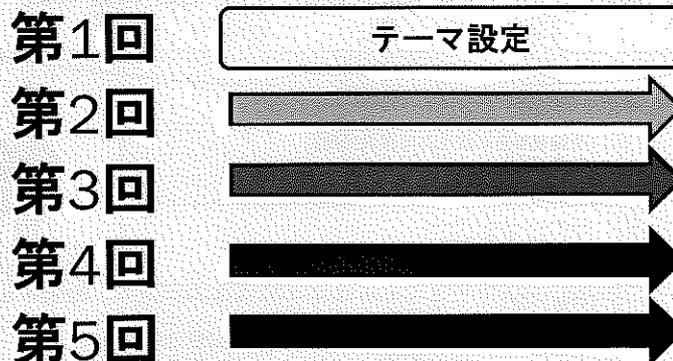
- ①問題発見
- ②実態把握
- ③地域診断
- ④活動計画
- ⑤実践
- ⑥評価

## 保健師活動の展開図 (PDCAサイクル)



## 活用シートによる保健師の気づき

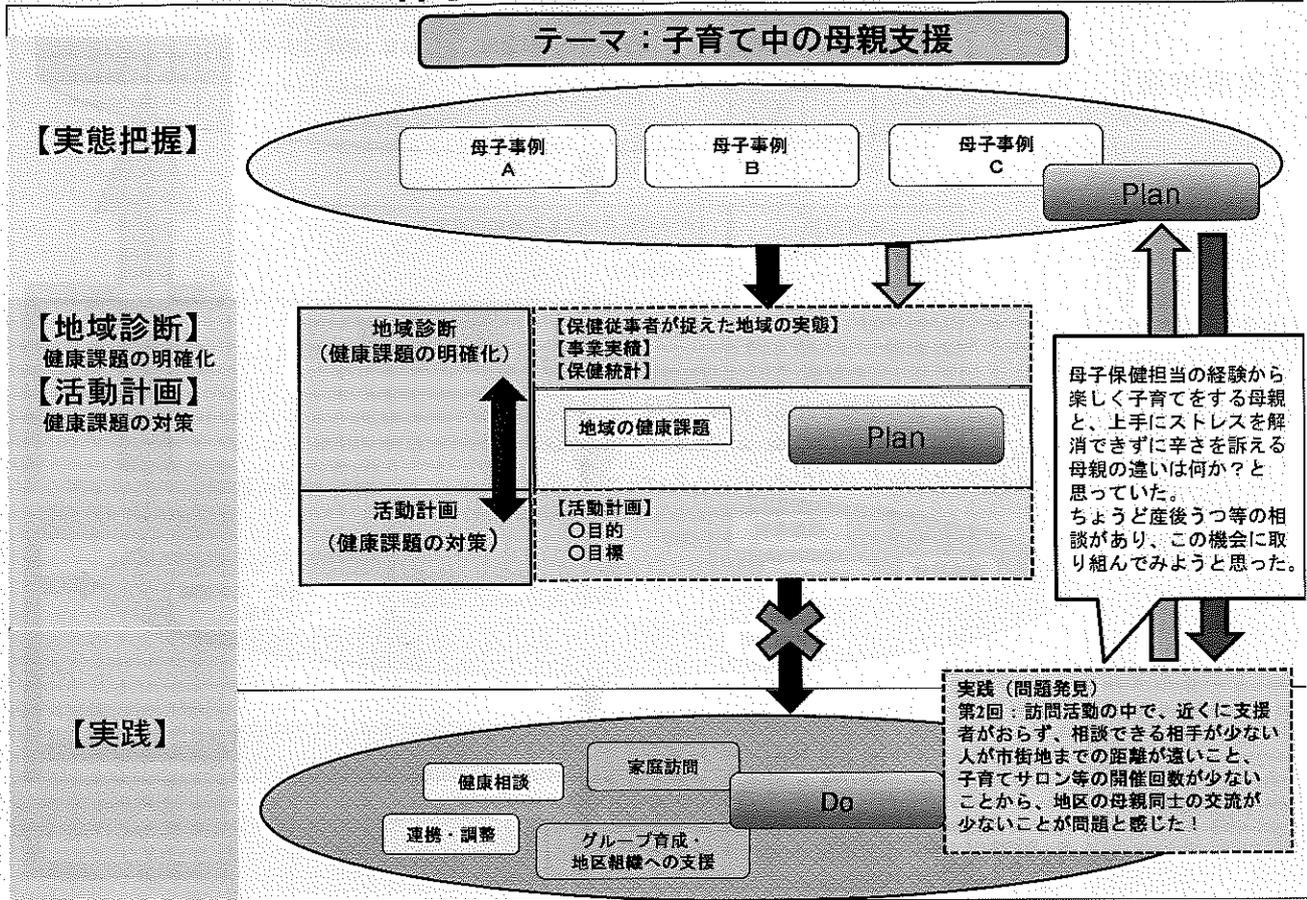
PDCAサイクルの進捗を矢印で、



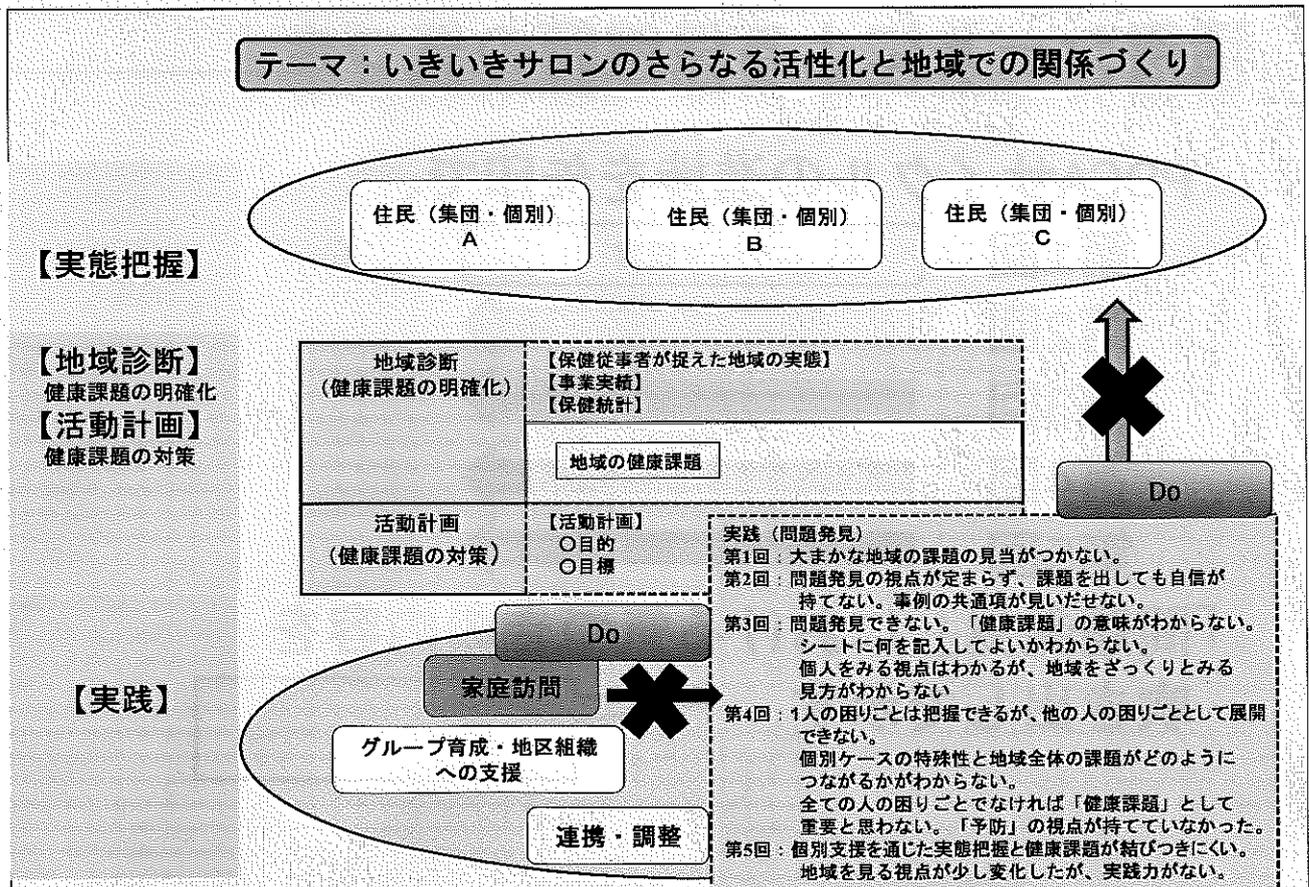
「問題発見」における気づきの内容を  
吹き出しで示す



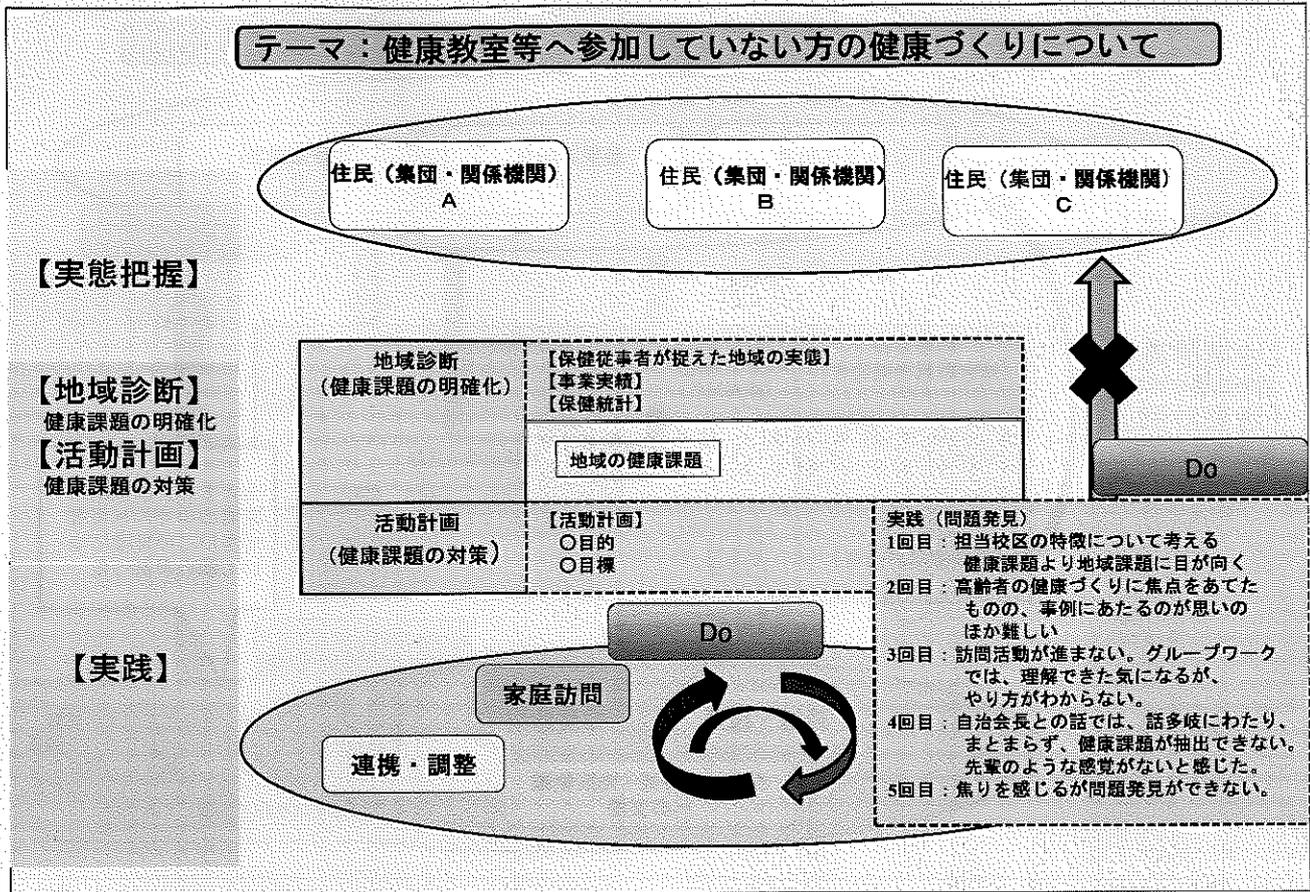
# 保健師活動の展開図（保健師 1）



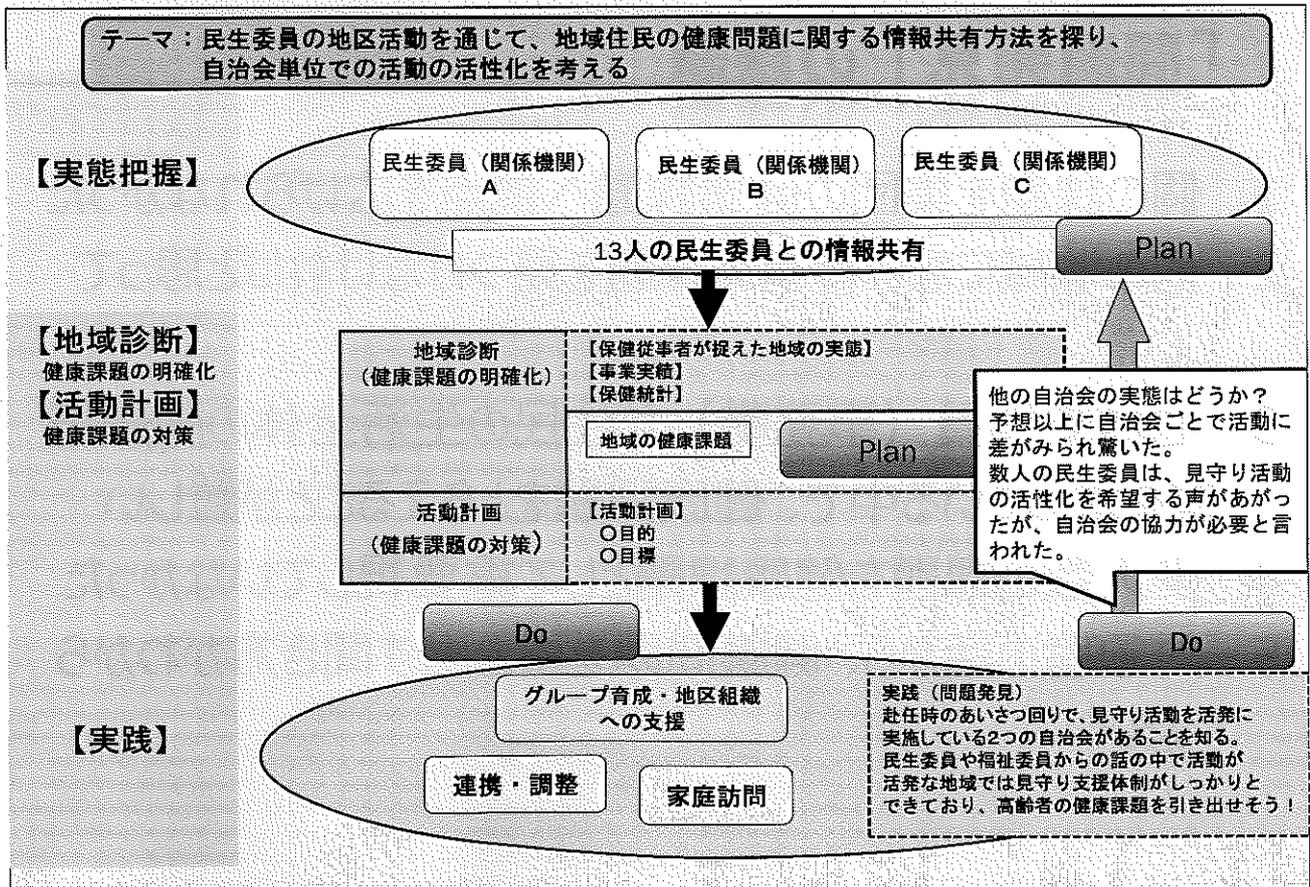
# 保健師活動の展開図（保健師 2）



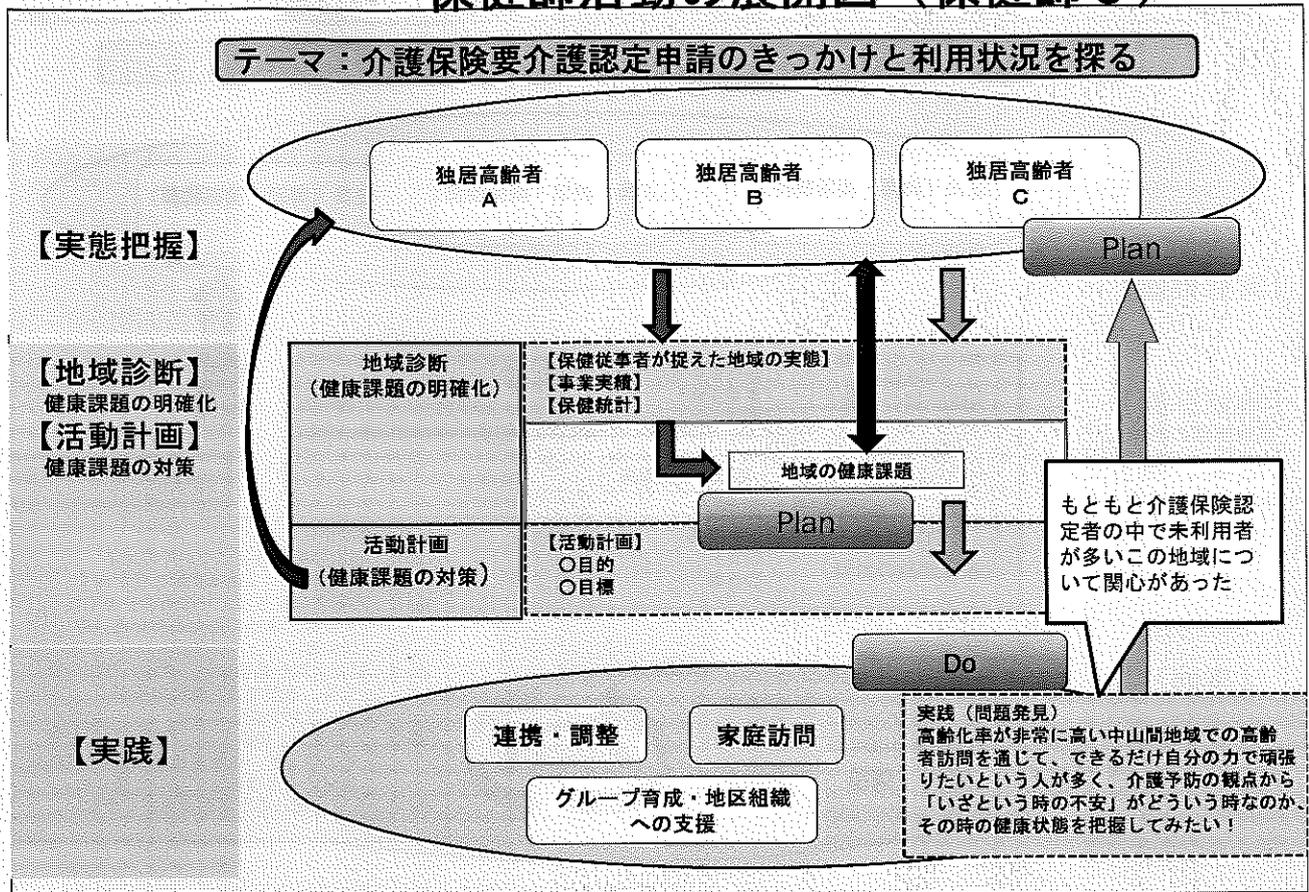
## 保健師活動の展開図（保健師3）



## 保健師活動の展開図（保健師4）



## 保健師活動の展開図（保健師 5）



### 「問題発見」の課題

- 1 個の課題を集団の健康課題へ視点を広げられなかった
- 2 他の地域にない特有の課題を見つけなければと思っていた
- 3 地域支援員（事務職）が住民の生活全体の課題把握を求めている中で、健康課題をとらえることが難しい
- 4 少人数の課題を健康課題として重要視していなかった
- 5 対象者の話から、健康問題を引き出す聞き方がわからない

- 
- 6 健康課題が見えない、目の向け方がわからない
  - 7 問題発見をしても、的確かどうかを判断することに自信がない

---

## 7つの課題と2つのカテゴリー

### 視点

10人の困りごと≠健康課題

健康課題の捉え方

聞き取りの焦点

特有の課題

個から集団への健康課題の広げ方

### 手順

健康課題への目の向け方

問題発見の確認作業

## 考察

---

- 日常の業務の中で健康課題の気づきや感覚を持っていることが、PDCAサイクルをスタートさせるポイントとなっている
- PDCAサイクルにおける「問題発見」の段階で保健師活動を阻む問題は、保健師の【視点】と【手順】に分けることができた
- 今後は、PDCAサイクルの実践モデルの構造として、【視点】と【手順】に着目し、検討をしていく必要がある

---

## 参考文献

- 1) 守田孝恵編著,  
展開図でわかる「個」から「地域」へ広げる  
保健師活動, P14, クオリティケア, 2013